

# 江戸のやさしさと包容力

第六回 江戸に幸福力を学ぶ人情話の会  
(旧久松町倶楽部)

蒔蓄齋ひげ丸

# はじめに

- 前回（第五回）から、新しいテーマを設定しました。

- 「もう一度、落語を知ろう」

と題して4回程度の連続で考えています。  
(今回はその第2回目)

- 前回までは、人と人とのつながり、コミュニケーションをテーマに4回行いました。

- 幫間のいた時代、江戸の上司部下 (第一回) 「百年目」
- 江戸の夫婦の風景 (第二回) 「芝濱」
- 江戸の商売の道、商人道 (第三回) 「文七元結」
- 江戸の家族・親子の絆 (第四回) 「子別れ」

# 落語を知ろう

- 前回：上方落語の魅力に触れる
- 今回：多様性都市、江戸に触れる
  - 江戸の幸福力の源泉、やさしさと包容力
  - 人情の舞台は、長屋の日常にあり
- 次回（12月5日）：芝居噺「中村仲蔵」
- 次々回：やっぱり落語は、爆笑噺を予定

# 多様性・ダイバーシティ

という言葉、知っていますか？

# 逝きし世の面影 渡辺京二著

- 第五章 雑多と充溢 (十章は子供の楽園)
- 街にひしめく人々の多様さだったろう
- 彼らの暮らしは雑多な小店舗が混じりあう複雑な相の中で営まれていた
- 絵のような衣装をまとった大人や子供で溢れていた
- いずれもふつうの日用品にうっとり眺めずにはられない
- それぞれのお店が特定の商品に特化している
- 店の売主は、同時に熟達した職人でもある
- 通りは社会的生産、創造の場、展示場

# 人間の多様性とは？

- 年齢、性別、民族、身体的特徴、
- 婚姻状況、家族形態、
- 文化的な背景、宗教、言語、
- 価値観、趣味、嗜好
- 出身地、学歴
- 就労形態、収入状況、

– とにかく、様々な違いは、たくさん

# なぜ、今、ビジネスでも 多様性が必要とされるのか？

- リスクへの対応
- 単一文化、単一組織の危機対応能力は？
  - たとえば、ソメイヨシノの例、震災の例
    - 状況の変化に対応できるか？
    - ベストな解が迅速に出せるか？
- イノベーションの原動力

今日の江戸幸で、

**多様性**という言葉の  
意味を考えてほしい

と思っています。



# 前回より：落語のジャンル

- 落とし噺  
(滑稽噺)
  - 人情噺
  - 怪談噺
  - 芝居噺
  
  - 古典落語
  - 新作落語
- 音曲噺 上方落語
  - (素噺) 江戸落語
  
  - 廓噺
  - 与太郎噺
  - 長屋噺
  - 幫間噺
  - 盲人噺
  - 夫婦噺
  - 職人噺
  - 親子噺
  - 武家噺 などなど

# 落語に登場するメインキャスト

- 大旦那
- 番頭
- ご隠居
- 大家さん
- 八公、熊公：職人
- 定吉：小僧
- 花魁、遊女
- 一八さん：太鼓持
- 若旦那
- 与太郎：ぼーっとして  
るか、知恵遅れ

# 大家と店子の間柄

- 管理は差配人の**大家さん**に任されていた
  - 地主やその建物の所有者は別
- 長屋住人の窓口役
  - 町の行政組織の一端も
- **大家といえは親も同然、店子といえは子も同然**
  - 人別帳（住民票）記載、家賃の督促、揉め事の仲裁、仲人も

# 貸し借りや助け合い

- 江戸時代の長屋は鍵がなく、外出の際には一声かけて留守を頼んだ
- 独り者には、女房連中が何かと気を配っていた（ほころび、おかずの届けなど）
- 米、お醤油やお味噌の貸し借りも
  - 明日はわが身と、手元にある限り快く
- もらい物は、ご近所にわずかでもおすそ分け

# 江戸の暮らしの川柳より

- 夕立に取り込んでやる隣の子
- ほころびと子をとりにかえるひとりもの
- 椀と箸持って来やれと壁をぶち
- 寝ていても団扇の動く親心

**施し、奉仕、ボランティア...**

**上から目線ではない行動、意識、  
なかなか難しいですね**

# 奉仕とは？

- 犬養道子「あなたに今できること」より
- 英語では「サービス」
  - 日本語の奉仕には、奉仕する側とされる側の存在
- 「サービス」には、上下はあるかないか？
  - 動詞は「サーブ」
  - スポーツがわかりやすい？
    - コートに立っている限りにおいて、対等
- 実は、対等な関係

# 奉仕・サービスとは

- **すべて同じ人間性**を持っている相手に対して、今できることをしてあげること（**上下はない**）
- ボランティアとは？
  - **ちょボラ**ってどうよ。
  - ボランタリーという言葉は「**自発性**」



# ボランティアとは？

- ボランティアをした人が驚くのは、何かをしてあげようと思っ  
て行ってみると、実は何かをしてもらったのは、自分の方だったと  
感じる事。
- 弱さの強さ、弱さの思想
- 金子郁容-岩波新書より

# 風が吹けば桶屋が儲かる

これ、知っていますか？

東海道中膝栗毛にも出てきます。

# こじつけ？つながり？

- 大風で土ぼこりが舞う
- 土ぼこりが目に入って、盲人が増える
- 盲人は三味線を買う
- 三味線の腹のために、猫が殺される
- 猫が減ると、ねずみが増える
- ねずみが増えると、桶（箱）をかじる
- 桶（箱）屋の仕事が増える

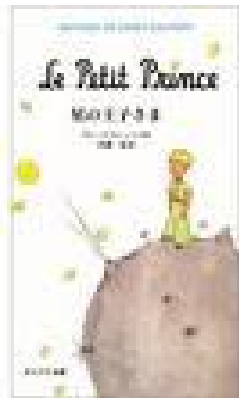
# 『心眼』の聴きどころ

# サン=テグジュペリさんも、 書いてます。



- 1900年～1944年（仏）作家・航空パイロット
- 代表作：人間の土地、夜間飛行、星の王子様

# きつねが王子に語りましたね



『星の王子さま』より



ご清聴ありがとうございました。

蒔蓄斎ひげ丸